

絆(Kizuna)

～ 八幡西中 P T A たより ～

第 4 号

平成 23 年 12 月 6 日

近江八幡市立八幡西中学校 P T A



気持ちをひとつに・・・ありがとくに寄せて 11/19(土)

去る、11月19日(土)、本校創立30周年記念式典をみなさまのお陰をもちまして、成功裏に終えることができました。今年度のPTA事業計画に「周年事業に関わるPTAのあり方として、PTA事業を創立30周年記念事業や学校支援地域本部事業に重ね合わせ、創立30周年記念事業に参画し成功させることが、今年度のPTAに託された役割(使命)。」と掲げてきました。この日まで、本部、専門部長は、実行委員として、それぞれの記念事業実行委員会事業部、PTA環境整備・学年部のみなさまには、部長を中心に最後までご支援をいただきました。

式典をともに祝うために、ご来校いただきました保護者のみなさまもありがとうございました。

そして、こうごうしい空気のなかで、生徒たちのその空気を真摯に受け止めようとする姿勢、吹奏楽部の演奏後の誇らしげな姿とともに感動の時は流れていきました。

地域の方々にも並々ならないご支援をいただき、今年度のスローガン『つながろう！ 家庭・地域・学校』～支えあい、励ましあい、育てよう大きな力と強い絆を～のとおり、事業が達成できたことは、大きな安堵と喜びとなりました。ここに、みなさまに、心より深く感謝、申し上げます。

～前日準備から式典の様子～

「ありがとう」をあなたに・・・



④⑤左:「ふるさと」全員合唱 京フィルの演奏で会場全体がひとつに 中:「ふるさと」全員合唱の指揮をする小森先生
④右から中庭を清掃する環境整備部(前日準備)、シートを敷く学年部、実行委員(前日準備) のみなさま
下右:保護者受付を担当する学年部のみなさま、下左:式典前の会場入り口

『つながろう！ 家庭・地域・学校』

～支えあい、励ましあい、育てよう大きな力と強い絆を～

平成 23 年度 活動スローガン

☆八幡西中ホームページ一新しました。(11/30)「八幡西中」で検索をかけてみてくださいね。

裏面へつづく



去る、11月5日(土)、ひさご寿し料理長川西豪志氏を招いて『郷土料理「あめのうおご飯」からわたしたちの住む近江八幡を知ろう！～食べたい・知りたい・育みたいから考える母校愛、郷土愛～』をテーマに、PTA本部と生徒会の交流会を開催しました。

今年度のPTA活動スローガンに「創立30周年を迎えるにあたって地域の方々との交流を深め、母校、郷土を愛する気持ちを育みます。」を掲げていることから、本事業は、地域フェスティバルに協賛する生徒会、それを支えてくださる地域の方々との交流をはかる目的で行いました。

そして、わたしたちの住む近江八幡の食文化を知ることから、母校愛、郷土に対する思いを考える機会になればとの願いをもっていました。



～あめのうおご飯～ 滋賀県食文化財 写真左

日本の琵琶湖にのみ生息する固有種のビワマスは、秋の産卵期になると雨の日に川をあがることから「あめのうお」とも呼ばれています。食通のなかには「マグロのトロよりおいしい」とさえ言わせる「あめのうお」を贅沢に炊き込みご飯にしました。

材料 ビワマス、米

献立 あめのうおご飯、よそののコロッケ、ほうれん草のおひたし、ポテトサラダ、えび豆、きゅうりの酢の物、豆腐とわかめの味噌汁



八幡には、豊かな自然、豊富な食材
がいっぱいあるよ。伝えていこ

川西 豪志 氏

上左右、下左:あめのうおご飯弁当を楽しむ北里民生委員、生徒会

下右:「近江八幡には、多くの食材があることがわかりました。また、食べたいです。」と茶木瑞稀くん(3年)

食材のわかめと調味料以外は、すべて近江八幡でとれたもの、もしくは、つくられたものにこだわって本部役員、山本教頭先生、富永相談員のご協力をいただいております。

わたしたちの住む近江八幡は、豊かな自然と豊富な食材に恵まれています。そして、世界でも類をみない淡水の島(沖島)があります。そこでは、天然うなぎやえびが獲られています。今回は、そのえびを使って「えび豆」を作って入れてみました。また、郷土料理ではないですが、今、世の中でよく耳にするご当地グルメ沖島「よそののコロッケ」も加えました。子どもたちが、「おいしい、おかわり」という様子に、疲れも吹っ飛びました。また、子どもたちの発言のなかに、本事業の目的をしっかりと受け止められていると感じられ、有意義な会となりました。

※ 図書室の飲食は、認められていません。今回は、許可をいただきました。